

生活支援サービス契約書

株式会社コンフォート(以下「甲」という)と _____ 様 (以下「乙」という)とは、賃貸借の目的である建物「コンフォートフォレスト宝町」(サービス付き高齢者向け住宅)における乙に提供する生活支援サービスについて、次のとおり契約を締結します。

第1条(契約の目的)

甲は、乙が安全かつ安心して主体的に生活を継続できるよう、乙に対し、サービス付き高齢者向け住宅における基本サービス(必須サービス)を提供するとともに、乙の希望に応じて、その他のサービス(選択サービス)を提供することを約し、乙は、その対価として第4条に定めるサービス料金を甲に支払うことを約します。

建物の賃貸借が終了した場合には、生活支援サービスの提供も終了します。

生活支援サービスの提供が終了した場合には、建物の賃貸借も終了するものとします。ただし、乙の責によらない事由により生活支援サービスの提供が終了した場合には、乙は、建物の賃貸借の継続または終了のいずれかを選択することができます。

第2条(生活支援サービスの内容)

甲が乙に提供する生活支援サービスの内容の詳細は、生活支援サービス重要事項説明書(以下「重要事項説明書」という)に記載します。

I 基本サービス

① 生活相談サービス

日常生活を送るうえでの困りごと等相談に応じます。

② 状況把握(安否確認)

毎日、定期的に住宅職員が伺い安否確認を行います。また、ご入居者様(ご家族様)とご相談の上、状況に応じてお伺いし確認いたします。

③ 緊急対応サービス

24時間の緊急時の対応及び安全確認(緊急通報装置の利用を含む)。

突発的な事故、体調の急変などの場合に駆けつけ、必要な措置を講じるとともに、状況により協力医療機関及び家族へ連絡を行います。

④ フロントサービス

来客・宅急便・クリーニングなどの受付、健康、生活、介護等の相談及び外部事業者への情報提供や取次を行います。

II 選択サービス

- ・食事サービス(別途契約)
- ・入浴準備・清掃
- ・服薬確認

第3条(サービス提供の記録)

1 甲は、乙の希望により提供する選択サービスについては、月毎にその提供の実績を、当月末日までに締めて翌月20日迄に確認を受けることとします。

- 2 甲は、高齢者の居住の安定確保に関する法律第19条の規定に基づき、サービスの提供に関する諸記録を作成し、契約終了後2年間保存します。
- 3 乙は、甲において、乙に関する第2項の諸記録を閲覧できます。

第4条(サービス料金等)

- 1 基本サービス(状況把握(安否確認)、生活相談、緊急時対応、フロントサービス)の料金は、月額(単身入居)30,000円(税込)・(2人入居)45,000円(税込)とし、1か月に満たない期間のサービス料金については、1か月を30日として日割計算した額とします。
- 2 選択サービスの料金については、重要事項説明書に記載した料金を基に月単位で計算します。

第5条(サービス料金の変更)

甲は、消費者物価指数、雇用情勢、その他の経済事情の変動により利用料金が不相当になった場合には、甲乙協議の上で、利用料金を変更することができます。

第6条(サービス料金の支払)

- 1 第4条第1項に定める基本サービスの料金について、甲は請求書に明細を付して翌月分を毎月25日までに乙に請求し、乙は、毎月27日までに甲へ賃貸借契約書に定める同一の方法にて支払います。
- 2 第4条第2項に定める選択サービスの料金については、各サービス契約書および重要事項説明書に定めるとおりとします。
- 3 乙が月途中で本契約を解除した場合、1か月を30日として日割計算の方法により甲が精算します。
- 4 甲は、乙から料金の支払を受けたときは、乙に領収書を発行します。

第7条(有効期間)

- 1 本契約の有効期間は、本契約成立の日から2年とします。ただし、事由の如何を問わずコンフォートフォレスト宝町における賃貸借契約が終了したとき及び乙が死亡したときは、本契約も終了します。
- 2 契約期間満了日の30日前までに、乙または乙の代理人から書面による契約解除の申し出がない場合、本契約は自動更新され、更新後の契約期間は2年とします。

第8条(事業者からの契約解除)

- 1 甲は、乙の行動が他の居住者の生命に危害を及ぼす恐れがあり、かつ通常的生活支援方法では、これを防止することができず、本契約を将来にわたって継続することが社会通念上著しく困難であると考えられる場合に、本契約を解除することができます。
- 2 前項の場合、事業者は次の手続を行います。
 - ① 一定の観察期間をおくこと。
 - ② 主治医及び生活支援サービス支援員等の意見を聴くこと。
 - ③ 契約解除の通告について1か月の予告期間をおくこと。

④ 前号の通告に先立ち、入居者本人の意思を確認すること。

3 甲は、乙が正当な理由なく甲に支払うべきサービス利用料を3か月以上滞納した場合において乙に対し、相当の期間を定めてもなお期間内に滞納額の全額の支払がないときは、この契約を解除することがあります。

第9条(利用者からの中途解約)

乙は、甲に対して、30日間の予告期間において文書で通知することにより、本契約を解約することができます。生活支援サービスの提供が終了した場合には、建物の賃貸借も終了するものとします。

第10条(秘密保持)

- 1 甲及びその従業者は、生活支援サービスを提供する上で知り得た乙及びその家族等に関する秘密を第三者に漏らしません。この守秘義務は、契約終了後も同様とします。
- 2 前項の定めに関わらず、乙の個人情報を提供する必要がある場合は、必要の都度、乙の同意を得るものとします。
- 3 居住者及びその家族等の個人情報に関する取扱いについては、個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)及び東京都個人情報の保護に関する条例(平成2年東京都条例第113号)を遵守します。

第11条(緊急時の対応等)

甲は、生活支援サービスを利用している乙に緊急な事態が生じた場合又は必要があると判断した場合は、緊急時マニュアルに応じて対応し、必要な措置を講じます。乙のご家族様には事前に優先する連絡先をお決めいただきます。

第12条(賠償責任)

甲は、生活支援サービスの提供に伴って、甲の責めに帰すべき事由により乙の生命、身体又は財産に損害を及ぼした場合は、乙に対してその損害を賠償します。ただし甲に故意の過失がなかった場合この限りではありません。

第13条(相談・苦情対応)

甲は窓口を設置し、乙の相談、生活支援サービス事業に係る要望、苦情等に対し、誠実かつ迅速に対応します。

受付窓口:コンフォートフォレスト宝町 1F 事務所

受付時間:平日 9:00~18:00

第14条(重要事項説明確認)

契約の締結に当たり、甲は乙に対し、別に作成する重要事項説明書に基づき重要な事項の説明を行い、乙はその内容を了承したものとします。

第15条(本契約に定めのない事項)

- 1 甲及び乙は、信義誠実をもってこの契約を履行するものとします。

